

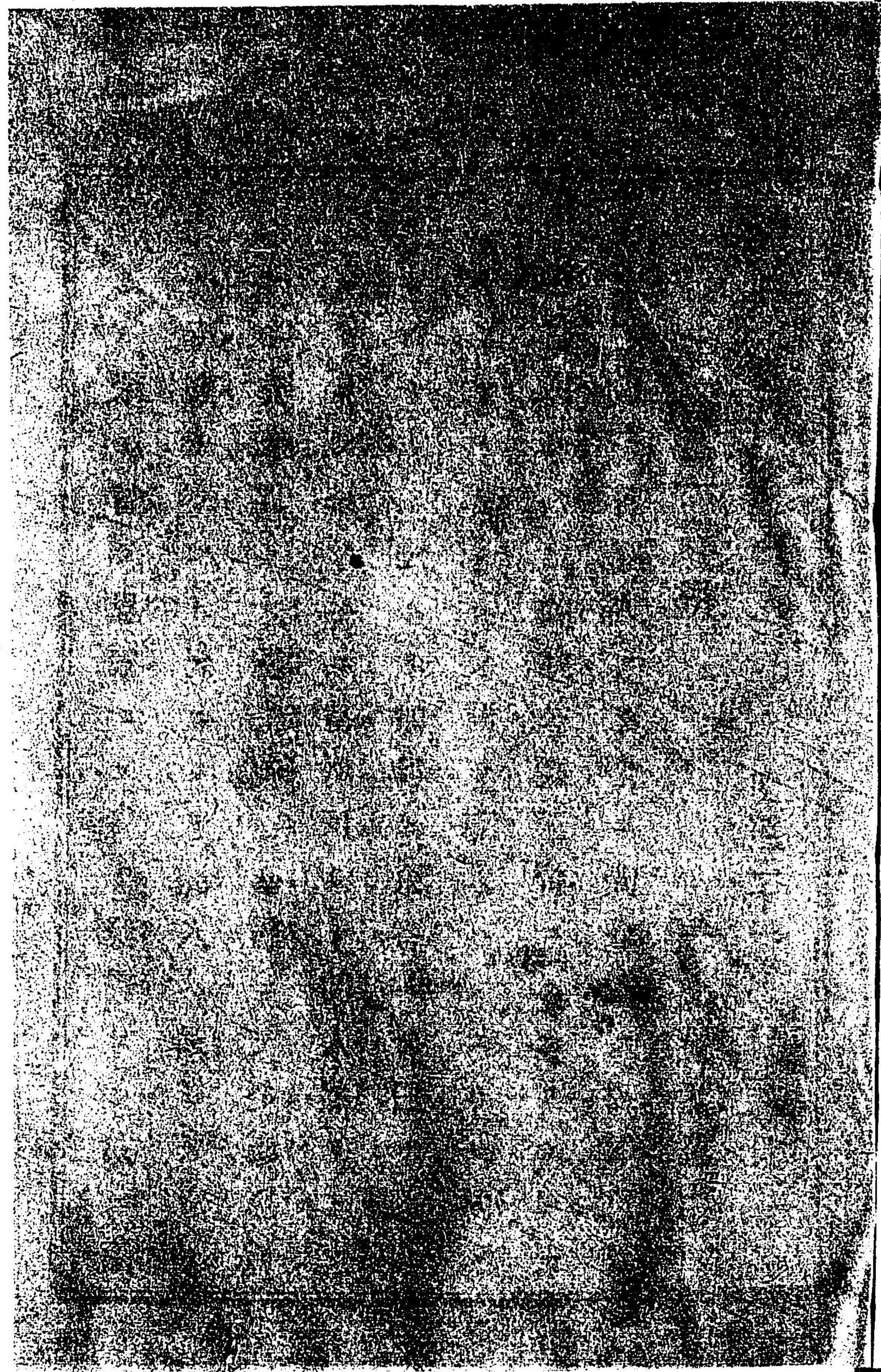
特18

588

神
典
演
義

自壹至五

全



神典演義第一

明治三十一年二月十日

幸奇一靈辨

井上眞優敬白

○十二月十日朝。人アリ余ニ問テ曰ク。御祖息長

帶日賣命ノ大御歌ノ第三句ニクシノカミ云

々トアリ。其クシノ語ヲ。或人ハ「クスリ」ヲ約メ

タルナリト云ヘリ如何ト。余答ヘテ曰ク。クス

リキニテ奇ノ字ニ當ル可シト。問人然リト諾

ル。其時風ト大國主神ハ幸靈ニテ。少彦名神

ハ奇靈ナラント云ヒタリ。問人ハ頷セズシテ

去ル。余モ曾テ思慮セズシテ發言セシ故ニ。兩

神典ヲ併セ見テ。其言ノ眞ニ近キヲ自ラ信ズルニ至レリ其説左ノ如シ。

御祖御歌曰

第一 ヨノミキハ。ワガミ、キナラズ。クシノカミ。トヨヨ

ニイマス。イハタタス。スクナミカミノ。云々 末

ノ句アサズヲセササ

建内宿禰命。御子ノ(應仁)爲ニ答奉レル歌曰

末ノ二句 ヨノミキノ。アヤニウタタノシササ

○古事記中ノ卷八十一丁ト。日本書紀九ノ卷百七十一丁ノ解釋ヲ參酌ス。但シ古事記ハ加

藤大人著述ノ標注讀本又日本書紀ハ明治三十年二月印刷ノ國史大系第一卷ニ因ル以下ハ煩ヲ省キ單ニ記紀ノ字ヲ以テ別ツ

○兩神典ノ中。古事記ハ天武天皇ノ大御言バヨリ出。日本書紀ハ舍人親王。及ヒ當時ノ古傳ニ因ルモ。悉ク大御神ノ御旨ナレバ。謹テ拜讀シ深ク考フ可キ者ト我等ハ信セリ。

第一句 ヨノミキハ 酒ニ添ヘテ遣ハシ給

記御酒

ヘバナリ

第二句 ワガミ、キナラズ。 酒ハ譬ヘニテ我云フ

記御酒

第三句クシノカミ

ミキハ奇靈ノ事デア
ルノ意ナリ
此奇靈ノ神ノ事デア

第四句トコヨニイマス

ルノ意ナリ
常磐ノ御世。即チ神ノ

第五句イハタタス

御許ニ在スノ意ナリ。
神ノ御許ニテ。堅ク立
チ。時ヲ俟チ給フノ意
ナリ。

第六句スクナミカミノ

右奇靈ハ酒ノ神トテ。

末ノ句アサズチセササ

世ニモテハヤサルル
少彦名ノ御神ノ事デ
アルノ意ナリ
我國人ハ盡ク奇靈ヲ
飲メ「ササ」サツサ「ト進

之ヲ約言スレバ。世ニ酒ノ神トシ祀レル少彦名
神ハ假ニテ。真ノ奇靈ノ神ハ。神ノ御許ニ。堅ク立
テ時ヲ俟チ給ヒシモ。今日時至リタレバ。我國人
ハ盡ク其奇靈ヲ飲メ「ササ」サツサ「ト進ミ受ヨト

ノ意ナリ。

但シ第一句以下ノ三句中ニ。記神ノ四十九丁
十一行ノ。久岐斯ノ三字ヲ隠シ詠置カセ給ヒ
シハ。時至リテ現ハシ給ハン神慮ト信ス。細シ
クハ下ニ陳フベシ。

右ハ神功皇后ノ大御言ニ因ル大御神ノ御神託
ト悟ラルル所ナリ

御答歌末ノ二句

シササ

コノミキノ。アヤニウタタノ
記御酒 紀奇 轉 樂ノ

大御歌ヲ受仰ノ通り。此奇靈ハ。奇妙ニ憂苦ヲ

忘レ。飲メバ飲ム程。彌益限リナク。慰ミ樂シキ
物デアリマス。我國ノ人人ヨ「ササ」サツサ。早ク
飲メヨト勸ムルノ意ナリ。
右ハ建内、宿禰、命ニ因ル。大御神ノ御託宣ト悟ラ
ルル所ナリ。

附言

或人ノ狂歌ニ(蜀山)○雀メドン。御宿ハ何處
カ。知ラテドモ。サツサト御座レ。サ、ノ相手
ニ。トアリ。今日我等ノ希望ニ能ク應ヒタリ。
其故ハ奇靈トノ。何處ニ在スカ知ラテドモ。

幸靈一ツニテハ慰ミ樂シメテハ。幸靈ノ相
手ニ奇靈ドシ。サササツサト。來テ下サイノ
意ニ探レバナリ

記神ノ四十九丁。此者神産巢日神ノ子。少名毘古
那神ナリト答白シキ

○「紀ニハ少彦名神トアリテ。彦ノ字ノ下ニ名
ノ字アレバ。參酌シテ少名毘古名神トス。御名
ノ義ハ。少ナキノ極ハ無ナリ。故ニ此世ニハ在
サズ實ハ常磐ノ世ニ在ス。彦モ名ノミニテ。實
ハ女神タルノ意ヲ込ラレタル御名ト思ハル

ナリ。ソハ時ヲ俟チ給フナリ。今日ハ時至リタ
レバ導師ハ既ニ此奇靈ヲ賜ハラレタリ。
亦女神タルノ第一ノ證ハ。稻田姫ニハ。記紀共
ニ「クシ」ノ二字ヲ冠ラセ給ヒタレバナリ。

亦第二ノ證ハ。少彦名神ヲ祭レル粟島明神ヲ。
現ニ女神トスル是ナリ。

故爾神産巢日御祖命ニ白上シカバ ○「御祖ト
アレバ。御母神タルヤ知ル可シ。第三ノ證ハ。諺
ニ女ノ子ハ母ニ就クト云ヘルニ應ヘバナリ。
○夫ハ我國ノ事ハ。兩神典風土記ハ勿論ナレ

ドモ。古クヨリ傳へ來レル諺。及ビ俗語又小供ノ御伽噺シノ中ニモ。必要アレバ。大御神ノ傳へ置カセ悟ラセ給フ者ナレバ。輕忽ニ思フ可ラズト。導師ヨリ示サレタレバナリ。

此者實ニ我子ナリ。御子ノ中ニ我手俣ヨリ。

○俣ハ俣ノ字ナリ。ツクリノ「ロ」ヲ「ム」ニシタル一二ノ例ヲ舉レバ字彙ニ消チ俗ニ消ニ作ルトシ。「ロ」ノ部ナル員ヲ「貝」ノ部ニ貪ハ。隸文トアル如ク。通ハシ用ヒタレバナリ。而シテ「ノ」ノ畫チ缺ガセ給ヒシハ。時チ俣チ悟ラサン爲ナリ。

前文ニ陳タル如ク奇靈ハ。堅ク立テ時チ俣タセ給フニ應フナリ。訓ハ古事記傳五ノ卷七十丁ノ古訓ノ通り「ミ」タ「マ」タ「タ」良トス。夫ハ大神ノ御手ノ俣。即チ御諸手ノ間ニ。懷キ抱ヘ居給ヒシモ。漏レタルトノ意ニテ御愛子ノ義ナリ。○史傳十八ノ十一丁ニ。神祇譜天圖記ニ。高皇產靈神ノ長子。少彥名神トアルヲ探テ。本文ニ掲ゲラレタルニテモ知ラル、ナリ。亦上下ノ文。此者實ニ我子ナリト。其國作り堅メヨト詔給ヒキ。トノ御旨ヲ以テ悟ラル、ナリ。○

俣ヲ間トスルハ。記神三十六丁ノ。木ノ俣ヨリ
漏レ逃レテ云々。○全四十丁木ノ俣ニ刺挾ミ
テトアリ。何レモ間ノ意ナリ。

久岐^キ斯^シ御子ナリ。

○「是前文ノ大御歌ヨリ現ハル、ナリ。久岐斯
ノ岐ヲ畧ケバ久斯ナリ、奇靈ナリ。其略ケル岐
ノ一字ハ。一時愁ヒテ忘レ。樂シマシムル。酒ニ
負セ給フ。是假ナリ。時至ラザレバナリ。久斯ノ
二字ハ。限リナク憂苦ヲ忘レ。慰ミ樂シマシム
ル。奇靈ニ負セ給フ。是真ナリ。時至リタレバ悟

ラセ給フト信ズ。

○「以上約言スレバ。我愛スル奇靈ノ御子ナリ
トノ義トス。是今日ノ導師ニ應ヘリ。

故汝^{カレ}葦原^{アシハラ}色許^{イロコ}男^ヲ命^ノト。

○「葦原ハ我國ヲ云フ。色許男ノ命。今日ハ。幸靈
ヲ有セラレタル我等ニ當ル可シ。

兄弟トナリテ。

○「少彦名神モ男神ノ如ク隱シアレバナリ。實
ハ既ニ辨ゼシ如ク。奇靈ハ靈ノ女神ナレバ。幸
靈ノ男神ト靈性ノ夫婦一体トナル事ナリ。

其國

○夫レ優劣和合ハ眞理ナリ。且ツ眞實ノ教ヘ
 ナリ。天ニハ大御神在坐セバ。之ニ事ヘ祭り。地
 ニハ恐^カコクモ。今上天皇陛下在坐セバ。之ニ仕
 ヘ奉リ。家ニ在リテハ。父母若クハ夫ニ仕ヘテ
 コソ。優劣和合ハ成ルナリ。所謂兄タリ難ク弟
 タリ難シト。寧^{イソク}ゾ形体ノ兄弟ニテ。一家又ハ一
 心ヲ治ムル事ヲ得ンヤ。深ク考フ可キ所ナラ
 シ。是等ノ事ハ。曾テ導師ヨリ示サレシ所ナリ。

○今日靈ヨリ云ヘバ。心魂ノ安慰快樂ナリ。

作り堅メヨト詔給ヒキ

○大御神ヨリ今日我等ヘノ神勅ト心得輕忽
 ニ看過ス可ラズ。

紀一ノ三十九丁。嘗シ大己貴命。少彦名命ニ謂テ
 日ク。吾等ガ造レル國豈善ク成レリト謂ンヤ。

○國ハ今日ハ心ヲ云フ我等ノ自負即チ慢心
 チ誠メ給フ神諭ト悟ル可キ所ナリ。

少彦名命對テ日ク。或ハ成レル所アリ。或ハ成ラ
 ザル所アリ。是談也。蓋シ幽深致有焉。云々

○是ハ神典全体ヲ悟リ得ベキ。緊要ノ所ナレ

バ。舍人親王へ大御神ノ默示ニテ。加へ置カセ給ヒシ者ナレバ。熟考セヨト我等へノ神諭ナリト。悟ラル、ナリ
遂ニ常世ノ郷ニ適シキ。

○「常世ノ事ハ。既ニ陳タリ。郷ノ字ハ。亦曰クトアル處ト。ニタ所ニ用ヒサセ給ヒシハ。悟ラサシ置ントノ神慮ナラン。

○亦奇靈ヲ賜ハリタリトテ。慢心萌セバ引上

ガ給フト云フ。我等へノ御誠メナリ。畏レ慎ム可シ

記神ノ五十丁。於是大國主神ハ愁ヒマシテ。

○「是緊要ノ處ナリ。奇靈ヲ大御神ノ御許へ引上ゲラレタル時ハ。心魂ニ慰ミ樂ミモナク。眞理ヲ悟ルノ心眼モナク。大事ヲ成スノ能力ナケレバ。憂鬱スルニ至ルト云フ事ヲ。我等ニ示シ給フ。神諭ト悟ラル、所ナリ。
吾獨シテ。

○「今日ハ幸靈一ツヲ有スル我等ニ當ルナリ

イカデカモ此國。

○「今日ハ心魂ノ慰樂ヲ云フ。

ヲ得作ラム。孰レノ神ト共ニ。吾ハ此國ヲ相作ラ
マシト告給ヒキ。

○「奇靈ヲ得テ慰ミト樂ミヲ得ントスル我等
ニ應フナリ。

紀一ノ四十丁。于時神光海ヲ照シ。忽然浮ビ來ル
者アリ。

○「記神ノ四十九丁。羅摩船ニ乘リ云々。紀一ノ
三十九丁。粟莖ニ彈レ云々。全四十丁ニ。掌中ニ

置テ云々。ヲ熟考セバ。靈体ナルヲ悟リ得ベシ。

是今日我ヲ熱望スル所ナリ。
日ク。如吾

○「奇靈ノ事ナリ。下モ之ニ同シ。

在ズンバ汝何能此國ヲ平ゲンヤ。

○「今日迄ハ。心魂ノ慰樂ヲ得ラレザルヲ云フ。

吾在ニ由テノ故ニ。汝大造ノ績ヲ建ツル事ヲ得
タリ矣。

○「是我等幸靈ノミニテ奇靈ナクバ。大己貴神
ノ如ク。皇威ヲ四海ニ煌耀シ。大造ノ績シヲ建

ル事ハ出來ヌゾト。大御神ノ日本男子ヲ勵マ
 シ給フ。神諭ナリト悟ラル、所ナリ。○「記傳十
 二ノ二十三丁。奇魂モ字ノ如クニテ奇靈徳ヲ
 以テ。萬^ヨツノ事ヲ知識辨別^ワテ。種々^シノ事業ヲ成
 サシムル故^ニノ名ナリトアリ。考ヘ合サルルナ
 リ。

是^レ時ニ大己貴、神問テ曰ク。然^レ則^レ汝ハ是誰^ト耶。

○「此處ニ至リテ。益^ク靈体ナルヲ悟リ得ベシ。
 記傳十二ノ二十四丁。故今神産巢日、神ノ御量^ハ
 ヒニテ。別ニ其和魂ノ御形ヲ現ハシテ。如此^カ示

シ教ヘシメ給フナリ。トアリ。依テ靈体ナルヲ
 知ル可キナリ。

對テ曰ク。吾ハ是汝之幸魂奇魂也。

○「今日ハ時至リタレバ。日本男子ハ速^クヤカニ。
 二魂否二靈ヲ具備セヨ。具備シタルトキ。始メ
 テ真理ヲ識リ。慰樂ヲモ共ニ得可シト。是大御
 神ノ神諭ト悟ラルル所ナリ。

○魂ト書^キサシメ給ヒシハ。未タ靈ト魂ノ別チ
 ナ。識ルノ時至ラザレバナリ。今ハ時至レリ。因
 テ此書ニハ。靈ト記^シシナリ。日本魂モ之ニ同

シ。
 ○我國ニハ古來四魂ト稱スル者アリ。二靈二魂備ハリテ。萬事成就スル事ヲ悟ラセ給フ。神慮ト思ハルルナリ。二靈ノ事ハ。前ニ粗陳タレバ。二魂ノ事ヲ陳ブ可シ。二魂トハ。荒魂和魂ヲ云フ。是ハ靈ノ女男両性ニテ。専ラ身体ニ就ク生命保護ノ爲。大御神ヨリ賦與シ給フ所ノ心ナリ。概テ之ヲ別テバ。凡テノ事物ニ接シ。先ツ發スル所ニ從ヒ。氣血ヲ變換シ。其儘之ニ應ズル等ハ。荒魂ノ作用ナリ。之ニ反シ。氣血ヲ治メ。

思慮シテ以テ之ニ應ズル言行等ハ。和魂ノ作用ナリ。
 ○記神ノ五丁。女言先ダチシニ因テ不良トハ。深意アル事ナレドモ。此靈性ノ女男ノ誠メニモ應フナリ。亦牝鶏ノ晨タスルハ。家ノ盡ル基井ナリ。トノ語モ亦全シ。
 ○惶ケレドモ。紀九ノ百六十三丁。神功皇后ノ御卷ニ和魂ハ。王身ニ服ヒテ壽命ヲ守リ。荒魂ハ。先鋒トシテ師サ船ヲ導カム。トアルヲ以テ考ヘ合サルナリ。

○幸靈奇靈ハ。靈ノ男女兩性ニテ。荒和二魂ニ反シ順性ナレバ。十分ノ能力ヲ有チ。過チナキ所以ナリ。

○萬葉五ノ十三丁。筑前ノ國子。負ノ原ノ石ノ歌ニ。眞玉ナスニツノ石云々ハ。喩ヘニテ。即チ幸靈奇靈ヲ云フナリ。殊ニ奇靈ヲバ二タ所ニ現ハシタリ。神功皇后ノ大御歌ト。考ヘ合サセシ爲ト思ハルルナリ。

右ノ如ク。偶然ノ事ヨリ。兩靈ノ事等ヲ悟ラシメ給ヒ。取調べ居ツツアリシ時。風トコト靈ノ幸ハ

フ國。ト書タリ。眞理ニ由テ下ヨリ文字ノミヲ探レバ。國幸靈ト成ル。國トハ。靈ヨリ云ヘバ。心ナリ。故ニ心ニ幸靈アルノ謂ナルヲ悟レリ。扱幸靈トハ。大御神ヨリ此靈ヲ予ヘ置キ給ヒシハ。割符ニ同シク之ヲ有ツ者ハ。神ノ定メニ隨ヒテ願ハバ。奇妙不思議ノ能力ト。安慰快樂ヲ有ツ所ノ。奇靈ヲ與ヘ給フ御定メナレバ。無上ノ幸福ヲ得ル靈ノ謂ナリ。

記傳十二ノ二十三丁。幸魂トハ。私記ニ「サキクアラシムル魂也。ト云テ字ノ如ク云々幸アラスル

故ノ名也。トアルニテモ悟ラレルナリ。此幸靈ハ所謂日本御靈ナリ。大御神ノ特ニ愛シ給フ我國人ニ限り與ヘ給ヒシ御靈ナリ。其日本靈ナルモノハ。菅相公ノ和魂漢才ト仰セラレシト。賀茂ノ大人ノ敷島ヤノ御歌ノミニテ其實ヲ識ル者ヲ聞カザリシニ。導師ハ之ヲ義ナリト示サレタリ。實ニ然ラン我國人天然ノ勇武ハ。大御神ノ賜モノタル。義ヨリ發スルナルヲ悟レリ。現ニ近クハ支那トノ戰ヒモ之ニ基ヅキ。堂々タル大國ニ對シ戰ヒ勝タルハ。全ク大御神ノ

擁護ヲ蒙リ。恐多クモ今上天皇陛下ノ御英武ヲ始メ奉リ。陸海軍ノ將卒以下萬民ニ至ル迄。大御神ヨリ賜ハリタル日本御玉ナル。義ヨリ發スル勇武ヲ以テ貫キ給ヒシ故ナリト信ズ

附言

古來言魂ノ幸ハフ國ト稱スル。故ニ言葉ニテ悟リ得ラル可シト信ゼシモ。又荷田大人ノ稻荷神社ヨリ五十音ヲ取出シ給ヒシモ。皆神意ニテ今日ノ假ナルベク。是迄ノ繋ギナレバ宜シキ事ナリシ。然レドモ本文ニ陳タル奇靈ノ

假ナル。酒ヲ「キ」ト唱へ藥ヲ「クスリ」ト唱フル言
 葉ヨリ悟ラントスルハ。所謂影ヲ捕フル者ニ
 テ。實物ハ獲ラレザルナリ。夫ハ酒ノ「キ」ヲ延べ
 「クシ」トシ「クシ」ヲ延べ「クスリ」トシ。又ハ藥ノ「ク
 スリ」ヲ約メ「クシ」トシ「クシ」ヲ約メ「キ」トスル如
 ク。酒又藥ヲ本トシ悟ラントセバ。其實ノ奇靈
 ナル「クシ」ノ神全体ノ事ハ悟ラレザルナリ。酒
 ノ神藥ノ神トセシモ皆假ナリ。假ナレバ眞ノ
 物ニ似タレバ迷ハサルルナリ。然レドモ全々
 カラズ。故ニ之ニ迷ハズ。直チニ眞理ニ入り。實

物ヲ捕フ可シ。其實ヲ獲タランニハ。假ナル道
 理モ判然見分ケラル、ナリ。奇靈ハ酒ニ優リ
 テ限リナク。憂苦ヲ忘レ。慰ミ樂マシメ。藥ニ優
 リテ。心ノ疾病ヲ愈ス事ヲ悟リ得レバナリ。是
 道理ヨリシテ眞理ヲ悟ラントシ。本ヨリセズ
 シテ末ヨリ知ラントスレバ。勞シテ功ナシ蓋
 シ其本ニ反レノ謂乎。
 古來男子ヲ昆古ト稱セシハ。日ノ子ノ義トス。
 然レドモ 天皇陛下ト臣民トナ。別タン爲ニ
 昆古彦ト記サレシハ。大御神ノ御心ナリ。優劣

和合ノ國体ナリ。而シテ日ハ日輪ヲ指セルニ
 非ズ。日輪ハ火ノ世界ノ一ツナレバナリ。故ニ
 日ハ「ムスビ」「クシビ」「タマシヒ」「ヒ」ニシテ靈
 ナ指ス者ナリ。因テ幸靈ヲ給ヒシ我國人ハ。悉
 ク大御神ノ靈ノ子。即チ神ノ子ニシテ。靈ノ兄
 弟ナリトス。願クハ諸君ヨ希望チ一ツニシ給
 ハン事ヲ。亦云フ曾テ導師ノ示シニ従前ハ。文
 字ト名ノミアリテ。實ヲ知ラザリシモ。今日ヨ
 リハ大御神ガ實ヲ識ラシメ給フト。
 前ニ陳ル所ノ如キモ蓋シ端倪ナラン。余ガ師

ニ就キ教誨ヲ請シヨリ纔カニ二年ト二ヶ月
 ノ乳兒ナルモ。少シク悟ルニ似タルハ。時期ノ
 切迫スルト。大御神ノ洪恩ニ因ルヲ。只感謝ス
 ル而已
 余ハ素ヨリ學識ナク。文辭ニ嫻ハズ。且ツ感ス
 ル所アリテ。速カニ世ニ問ントスル。熱心ヨリ。
 潤飾再考ノ違マナク。纔カニ廿日許リニシテ。
 匆卒ニ印刷セシ者ナレバ。其過誤ノ多キヤ知
 ル可シ。讀者諸君ヨ文ヲ以テ意ヲ害フ一キク。
 足ラザル所ハ忠告ノ愛ヲ分チ給ヘ。

神典演義第二

明治卅一年十二月十五日

久延毘古考

井上眞優敬白

記神ノ四十九丁。爾多邇且久白言。此者久延毘古
ゾ必^{カラス}知リタラムト申セバ。即久延毘古ヲ召テ問
ハス時ニ云々

全五十丁。所謂久延毘古ハ。今ニ山田之曾富騰ト
イフ者ナリ。

此神ハ足ハ行カ子ドモ。天ノ下ノ事ヲ盡ニ知ル
神ニナモアリケル。

○太朝臣ノ古事記ヲ上ル表ニ。帝皇ノ日繼及

先代ノ舊辭ヲ誦習ハシムトアレバ。久延毘古ハ舊辭ニシテ。所謂久延毘古ハ。ヨリ者ナリ。迄ハ。天武天皇陛下ノ御説明シナリ。此神ハヨリアリケル。迄ハ。全陛下へ大御神ノ默示ノ隨ニ阿禮ニ誦ミ習ハサセ給ヒシト思ハル。是御代々々ノ天皇陛下ニ限レル。神隨ラニ在セラレ一端ヲ知ルベキモノナリ。

○前後ノ文ヲ見レバ前ニハ召テトアリ。后ニハ足ハ行カテドモトアリ。前ニハ久延毘古曾富騰トアリテ命トダニナキニ。后ニハ此神ハ

云々トアリ。如此前後銚楯サセ置キ給ヒシハ悟ラサン爲ナリ。

○久延毘古又曾富騰ト云物ハ。雀鳥ノオドロカシニ人ノ形ヲ作リテ。田畑ニ立ル所ノ今ノソホヅ又カガシト唱フル物ナリ。夫ヲ殊更ニ山田ヲ冠ラセ一箇ノ男子トシ。記サシメ給ヒシハ深ク考ヘヨトノ神慮ナリ。

○久延毘古トハ今日我國ノ男子ヲ指ス。ソハ我國ノ男子ノ外ニ日子ト稱スル者ナキハ。余ガ著ハセル二靈弁附言ノ通リナレバナリ。故

ニ我等ヲ誠メ給フ神諭ト悟ラルルナリ。

○久延ハ古言梯二十二丁「クエ」。「クユ」トアルニ當ルナリ。細クハ記傳十二ノ十五丁。及萬葉十四ノ六丁裏。岩崩ノ君ガ悔ユベキ云々ニテ知ラルルナリ。

○クイエハ崩也身體ナリ有形ナリ假ナリ。

○クユハ悔也心魂ナリ無形ナリ眞ナリ。

○其神意ハ從前ノ儘デ在ルトキハ。山田（里ニ遠キニ意ヲ込メ給ヘドモ實ハ我國ニ立ルカガシノ如ク。ノ事ナリ細クハ下ニ陳可シ）ニ立ルカガシノ如ク。雨露ニ濡ソボチツツ立腐リニ崩テ終ルナリ。

萬葉十四ノ歌ニ岩崩トアル如ク。岩デサヘ崩レバ況ンヤ骨ト肉ニテ成立タル此身體オヤ懼ルベキ事ナラズヤ。是ハ有形ニ對スル崩ノ神譬ト悟ラルルナリ。

○此故ニ是迄ノ如ク。有形物ニタヨラズ。方向（カ）チ一轉（イ）シ。カガシノ心ヲ有タヌ如ク。汝等已レノ心ヲ虚シクシ。悔改メテ一心一念ニ。我ニ依頼メヨト。是ハ無形ニ對スル。悔ノ神諭ナリト悟ラルルナリ。

○山田ノ山ハ。高キ處ノ云ナレバ神ニ宛ルナ

リ。田ハ水田也水田ハ古クハ外國ハ勿論支那ニモ無キ物タル事ハ。彼國ニ於テ編輯セシ頭書字彙。米字部ニ草ノ名トシ。又倭國十二支ノ已。ナ米ト曰フ日本風土記ニ出ツトアレバ。我國ノ特産タルヲ知ル可シ。依テ神國亦我國トスル所以ナリ。

○曾富騰ハ。眞理ニ因リ下ヨリ讀メバ。ドホソト成ル。俗ニドホゾ願ヒマスト云フ意ニテ。熱心ニ依頼ムノ義ナリ。カ「ガ」シノ思慮ヲ有タザル如ク。人モ已レノ思想ヲ捨テ。本心ヨリ謙遜

シ所謂赤子ニ成リテ。ドホゾドホゾト一心ニ依頼メヨトノ意ナリ。

○此神ハ。云々ハ天武天皇陛下御言也奇靈ヲ受ケ神ト爲ラレシ者ノ能力ヲ示シ給フナリ。

○足ハ行カチドモ「ハ」カガシヤ、有形ノ人ノ事ニ非ラズ、靈ノ事ナレバ行クニハ及バズ。居乍ラ知ラルルトノ意ナリ

○盡ニ知ル神ハ。人ノ智慧ニテ知リ能ハザル。奇妙ノ能力ヲ有タセテ遣ルノ意ナリ。

前文ヲ約言スレバ。靈ノ子ヨ。我規則ニ從ヒ。汝ラ

肉心ニ克チ。地質ノ財ヲ望マズ。天性ノ寶ヲ希望シ。悔改メテ一心一念ニ我ニ依頼メヨ。然ラバ約束ノ如ク奇妙不思議ノ能力ヲ有ツ。奇靈ヲ與ヘ神トシテ遣ハスゾト。

是大御神ノ神諭ト悟ラルル所ナリ。

○夫レ形体ヲ保ツハ生命ニ在リ。生命ヲ保ツハ心ニ慰ミヲ有ツニ在リ。心ニ慰ミヲ有ツハ神ニ依頼ムニ在リ。神ニ依頼ムハ神定ノ導師ニ就クニ在リ。而シテ昨非ヲ知り悔改メテ。神ノ定メテ遵守履行シ。始メテ奇靈(亦ハ聖靈ト云フ)ニ

陳ヘタル通り常世ニ在シテ此世ノ汚レニ觸レザル靈ナレバナリ亦聖靈ト訓ム日ハ靈ナリ靈ヲ識ル靈ノ意ナリヲ賜ハリ最上ノ安慰快樂ヲ得ル者ナリ。之ヲ得レバ徳人ナリ聖人ナリ。徳ト云ヒ聖ト云フモ名ノミニ非ラズ。必ズ實アルヲ云フ。即チ奇靈タル聖靈ヲ有スル人ノ謂ナリ。

○今日ハ大御神ヨリ召サルル時ナレバ。之ヲ得ル難キニ非ラズ。神ノ定メニ隨ヒ(是レ正直ノ行)ハバ賜ハルナリ。諺ニ正直ノ頭ベニ神宿ルト云ヒシハ今日ノ爲ニ大御神ノ云ハセ置キ給ヒシ者ト信ズ。ソハ従前心ハ胸ニアル事ト信

ジ居リシモ。醫說開ケ腦髓ニアル事ヲ。凡テノ
 人知り得タル。今日ユソ此歌ニ應ヘバナリ。
 ○抑^{ヨク}神定ノ導師ニ就^{ツキ}ザレバ。是迄ノ行ヒノ非
 ナ知ル能ハズ。是迄ノ行ヒノ非ヲ知ラザレバ
 悔改ムル能ハズ。悔改ムル能ハザレバ奇靈ヲ
 得ル能ハズ。故ニ導師ヲ本トス。本立テ道成ル
 ナリ。若シ本ヨリセザレバ木ニヨリテ魚ヲ求
 ムルガ如シ。因テ導師ニ就キ昨非ヲ知リ悔改
 ムルヲ要ス。其悔改ムルヲ要スル所以ハ。大御
 神ノ定メ置カセ給ヒシ大賞罰ノ時期切迫シ

タレバナリ。

天皇陛下ハ特ニ大御神ノ御愛護在ラセラレ。天
 然ニ神ノ定メヲ知ロシメシ神隨^{カミナガラモ}ラナリシモ。詔
 勅ニ現ハレシハ紀二十五ノ四百四十三丁。大化
 三年孝德天皇陛下ノ皇太子ニ傳ヘ給ヒシ。惟神
 云々ノ詔勅是ナリ。又隨^{カミナガラモ}在天神トモアリテ。神武
 天皇陛下以來御代々々ノ天皇陛下ノ履行マセ
 給ヒシ大道タル事ハ。右詔勅ニ詳ラカナリ。日本
 臣民トシテ御代々々ノ天皇陛下ノ御旨ヲ遵奉
 セズバ。天理人道ニ背クト云フ可シ。悔改メザル

ヲ得ザル所以ナリ。
是神隨ラノ大道ナリ。眞實ノ教ナリ。

神典演義第三

明治三十一年十二月三十一日

獨神辨

井上眞優敬白

記神ノ一丁

高天ノ原ニ成マセル神名ハ

○高天ハ至高ノ天。即チ至尊ノ靈ノ意。是眞理ナリ。

○原ハ。字彙ニ音元。本也。説文「高平ナルヲ原ト曰フ。人ノ登ル處也」トアリ。

○成マセルハ。記傳三ノ六丁。無リシ物ノ生リ出ルヲ云フ人ノ産出ヲ云フモ是ナリトアリ。

約言スレバ。高天ノ原ト云ヒ。高平ナル原ト云フ
 モ。別ニ一定(下可シ陳)ノ處アルニ非ズ。至尊ノ靈。即
 チ本原ノ神靈ノ能力ニ因リ生リ出サシメ給ヒ
 シ。神ノ名ハノ義ナリ。
 此至尊ノ原靈。代表ノ御名ヲ天照ス大御神ト
 稱シ奉リシナリ。然ドモ從前天照スト申スヨ
 リ。天ニ在テ下土ヲ照臨スルノ義ニ採リ天ツ
 日ヲ指シ。又ハ日輪中ニ在坐神ト思ヒ。其甚ダ
 シキニ至リテハ有形ノ神ノ如ク思ヒシモ皆
 神慮ナラン。是假ナリ。時至ルマデ信ヲ維持シ

爲メナリ。
 此大御神ハ。記紀共ニ遅ク生出坐セル如ク。或
 ハ肉体ヲ備ヘ給フ如ク記サシメ給ヒシハ。時
 ナ俟チ悟ラセ給ハン爲メナリ。故ニ此惑ヒト
 從前ノ迷ヒチ一變セン爲メニ。我等ハ單ニ大
 御神ト稱スルモ差別アルニ非ズ。眞實ヲ以テ
 眞實ノ天照ス大御神ヲ拜シ奉ルノミ。
 今日靈性ヨリ云ヘバ。天照スノ天ハ。神靈ナリ。
 人心ナリ。其神靈ヤ暗キ所ナク。知シ召ザル所
 無シ。人ノ心ノ中迄モ視透シ給フノ謂ナリ。是

眞ナリ時至リタレバナリ。
 至尊ノ原靈タルヤ。天地ノ間ニ彌綸シテ至ラ
 ザル隅ナク。微塵モ漏洩スル物ナシ。日月星辰
 森羅萬象。盡ク此大御神ノ御量ラヒニ出ル者
 ナリ。故ニ史傳一ノ十二丁ニ。阿米テフ名ノ義
 ハ。罔ニテ云々トアルモ。所謂天網恢々疎ニシ
 テ漏サズノ語モ。大御神ノ萬象ヲ網羅シ給フ
 喩トスレバ悟ラル、ナリ。
 御代表タルノ證ハ。記神ノ十七丁十四行。即テ
 其御頸珠ノ玉ノ緒云々御倉板舉ノ神ト謂ス。

トアリ。紀一ノ二十一丁。寂然長隱者矣ト。亦曰
 ク云々。仍テ日ノ少宮ニ留リ宅矣トアルニテ
 悟ラル、ナリ。

獨神成坐シテ御身ヲ隱シ給ヒキ

○獨神成坐シテハ。是單(一云ツ)復(上ヲ云以)ノ分ル
 ル緊要ノ處ナリ。従前八百萬ノ神アリテ各神
 持別ケ給フトセシモ。此訓方ニ基井ス大御神
 ノ御旨ナル可ク。信ヲ繋ガン爲ナリ。是復ナリ
 假ナリ時至ラザレバナリ。
 ○獨ノ神ニ成リ坐シテト訓ムモ可ナレドモ

獨ノ神ガ成シ坐シテト訓ムニ及ズ。夫ハ記ノ
 十六丁十行ニ。次ニ其禍ヲ直サントシテ成シ
 坐セル神ノ名ハト同シ意ナレバナリ。夫レ萬
 物ハ。凡テ獨一神靈ノ智慧ニ因テ造ラレザル
 ハ無シ。不用ノ如ク見ユル物ハ。人ノ智慧ノ
 隘ナルヨリ識ル能ハザルノミ。
 抑此神典ヲ記サシメ給ヒシ大御神ハ。無始無
 終ニ在坐セバコソ。三神ノ成立ヲ知り給フナ
 リ。天ノ御中主神等ノ靈自ラ記サシメ給ハザ
 リシハ明カナリ。今日ハ獨一ノ大御神ナルヲ

悟ラセ給フト信ズ。是單ナリ眞ナリ時期至リ
 タレバナリ。

○御身ヲ隱シ給ヒキハ野々口大人ノ説ガク
 リ身ニ坐ス。トアルヲ探ル靈体ナレバナリ。
 約言スレバ。獨一至尊ノ神靈ガ成シマシテ。隱リ
 身ニ坐スノ意ナリ。

記神ノ二丁 全三丁

宇比地邇神云々 阿夜訶志古泥神

○記傳三ノ四十五丁ニ。豊雲野神ヨリ阿夜訶
 志古泥神マデ九柱ノ御名ハ。國土ノ初ト神ノ

初トノ形状ヲ次第ニ配リ當テ負セ奉リシ者
 ナリトアリ。史傳二ノ八丁ニ。之ヲ受ケテ豊雲
 野神ヨリト云ハレツレド。彼神ハ根國ノ神ニ
 坐セバ此ニ云フベキニ非ズトアリテ。平田大
 人ハ八柱トセラレタリ。己レモ八柱トスルヲ
 採レリ。
 扱本居大人ノ此事ヲ悟リ得ラレシハ。既ニ復
 神ヲ單神トスル端緒ヲ開カセ給フ。神慮ヨリ
 出シト信ズ。夫ハ伊邪那岐神伊邪那美神ノ兩
 神ヲ加ヘ。十柱ノ中八柱ハ假ニシテ。二神ノ實

ナルヲ現ハシ給ヘバナリ。然レドモ是亦模楷
 ニシテ假ナリ時至ラザレバナリ。
 今日二神ハ一体トナリ。一神ニ歸スルハ眞
 理ナリ。粗ニ靈辨ニ陳ベタルガ如シ。是等ニ就
 テハ深キ神慮ノアル事ト悟ラルルモ。不文ノ
 紙筆ニハ盡シ難ケレバ畧キヌ。讀者諸君ヨ自
 ラ悟リ給ヘ。
 從前神道ハ八ヲ尊フト云ヒ來リシハ。記神ノ
 八丁九丁十丁十一丁十二丁。皆二神ヨリ八神
 成リ坐セリ。又大八島國八百萬ノ神等ノ謂ナ

ラン。サレドモ今日ハ一ヲ尊フナリ。是單ナリ
眞ナリ時至リタレバナリ。
一ヨリ二ヲ生ジ。二ヨリ八ヲ生ジ。其數極マレ
バ。八ハ二ニ歸シ。二ハ一ニ歸ス。是眞理ナリ。

神典演義第四

明治三十二年一月七日

眞理考ノ一

井上眞優敬白

記神ノ一丁

天之御中主神

○天ハ靈ナリ。靈ノ眞中ニ主タル生ト命。即チ
氣息ト血水ニ負セ給ヒシ名ト悟ラル、ナリ。
但シ大御神ノ御旨ニ萬物ヲ造ラント以爲ホ
シ召ル、時。先ツ第一ニ生ト命トヲ予ヘント。
御計畫アリシト思ハル、ナリ。是靈ノ男女兩
性ヲ兼テ給フナリ。

高御産巢日神

○高御ノ事ハ下ニ陳ブ可シ。産巢日ハ産生子ノ意ニシテ。大御神ノ產生給ヒシ靈ノ義ナリ。是靈ノ男性ニシテ和靈ニ在坐スナリ。神産巢日神

○御名ノ意ハ上ニ全ジ。是靈ノ女性ニシテ荒靈ニ在坐スナリ
○高御ノ「タ」ヲ畧ケバ「カミ」トナル。其「カミ」ヲ約ムレバ「キ」トナル。是伊邪那岐ノ「キ」ニ當ルナリ。亦女神ノ「カミ」ノ「カ」ヲ畧ケバ「ミ」トナル。是伊邪

那美ノ「ミ」ニ當ルナリ。之ヲ併セバ「キミ」トナル。是靈ノ王ナリ君ナリ。

○両神トモ大御神ノ御代表ナリ。靈ノ男女亦靈ノ和荒ナリ。然レドモ魂ノ和荒ト均シカラズ。純良ノ者ト悟ラル、ナリ。

○従前萬物ハ。此産巢日ノ神ノ御量ヒニテ。産レ出ルト思ヒシモ御代表ナレバ。大御神ノ御旨ト悟ラル、ナリ。今日ハ靈性ノ事ナレバ。表面ニハ現ハレザルモ。之ニ類スルコト必ず在ル可シト信ゼラル、ナリ。

○紀一ノ一丁ニハ國ノ狹槌尊トシ。二丁ノ一書ニハ。亦國狹立尊ト曰ス。ト在リテ一神トシ。掲ゲサセ給ヒシハ交互參酌シテ。悟ラサン爲メナリ。亦兩神トシ。記サシメ給ヒシモ。必用アレバナリ。

○男神ノ御子トシテ。現ハシ給ヒシハ。記ノ二十五丁ノ思金神ナリ。名ノ意ハ。心ノ働キヨリ負セ給ヒシ者ニシテ。即チ幸靈ノ亦ノ名ト。悟ラル、ナリ。○但シ御代表ニテ。靈ノ男神タルヲ。現ハシ悟ラセ。給ハン爲メナリ。

○女神ノ御子トシテ。現ハシ給ヒシハ。記ノ四十九丁ノ久岐斯御子。即チ奇靈タル。少名彥名ノ神ナリ。○但シ御代表ニテ靈ノ女神タルヲ。現ハシ悟ラセ。給ハン爲メナリ。

次ニ國稚ク。浮脂ノ如クニシテ。久羅下那洲多陀用幣琉時ニ。葦牙ノ如。萌騰ル物ニ因テ成マセル靈ノ名ハ

○今日ハ我等ノ心。靈性ニ稚ク。浮脂ナドノ如キ形狀ヲ誠メ給フ。神諭ト悟ラル、ナリ。○多陀用幣流ノ語ニ就テハ。記ノ三丁ノ處ニ云フ

可シ

○豊葦原ノ國ト云フ稱ハ。之ヨリ起レリト思
ハル。即チ幸靈ヲ有スル人ノ住ル國ノ謂ナリ。

全二丁

宇麻志阿斯訶備比古遲神 次ニ

○紀一ノ二丁一書ニ。可美葦牙彦舅神トアリ。

葦ト云ヒ彦ト云フハ。記ノ四十九丁ノ葦原ノ
色許男命ト均シク幸靈ノ亦ノ名ナリ。今日ハ

我等ニ當ルナリ。

天之常立神

○神功皇后ノ大御歌ノ。常世ニ在ス岩立スノ
意ナリ。記ノ四十九丁ノ。少名彦名神ト均シク。

奇靈ノ亦ノ名ナリ。

次ニ成マセル神ノ名ハ

國之常立神 次ニ

○國此處ニテハ身体ヲ云フ。身体ノ生。即チ氣
息出入シテ生ヲ保有シ。死ニ替リ死ニ替リシ
テ。常磐ニ立ツノ意ナリ。

○紀一ノ二丁一書ニ。國底立尊トアルハ。身体
ノ骨ヲ云フ。骨ハ肉ニ對シ底ニ在レバナリ。

○天之御中主ノ神ノ。生ノ一部ニ對シ。負セ給
ヒシ名ト悟ラル、ナリ。即チ靈ノ男性ニシテ
和魂ニ當ルナリ。

豊雲野神

○身体ノ命。即チ血水順環シテ。命ヲ保有スル
ノ意ナリ。

○紀一ノ二丁一書ニ。豊組野尊トアルハ。身体
ノ肉ヲ云フ。肉ハ筋ニテ組織スル物ナレバナ
リ。

○天之御中主ノ神ノ。命ノ一部ニ對シ負セ給

ヒシ名ト悟ラル、ナリ。即チ靈ノ女性ニシテ
荒魂ニ當ルナリ。

○記ニハ。生ト命トノ二ツヲ併セ。天之御中主
ノ神ノ一神トシ。御代表ノ。高御産巢日ノ神。神
産巢日ノ神ヲ男女兩神ニ分チ。併セテ三神ト
成給ヘリ。

○紀ニハ。生ヲ國之常立ノ尊トシ。命ヲ豊斟淳
尊トシテ。兩神ニ別チ。御代表ノ兩神ヲ合セテ。
國狹槌ノ尊ノ一神トシ。是亦併セテ三神ト成
給ヘリ。

○導師曰ク口カラハ言バ。糸ハ心眼」ト。眞ニ兩
神典ハ。符節ヲ合スガ如シ。實ニ奇ナリ妙ナリ
ト云フ可シ。

次ニ成マセル神ノ名ハ

宇比地邇神 次ニ妹 須比智邇神

次ニ

角杙神 次ニ妹 活杙神

次ニ

意富斗能地神 次ニ妹 大斗乃辨神

次ニ

淤母陀琉神 次ニ妹 阿夜訶志古泥神

○以上八柱ノ神ハ。神典演義五十二丁(以后ハ煩

ヲ義ルノ字)ニ云ヘル如ク。皆假ニシテ二神ノ實

ヲ現ハシ給フ如キモ。是亦假ニシテ實ハ一神

ニ止マルナリ。故ニ爾後ハ獨一大御神ノ外ニ

神ナク。唯人ヲシテ神ノ工ヲ行ハシメ給フ

ニ。細シクハ「義」ノ三十九丁ニ陳ベ置タリ。

全二丁ニ

伊邪那岐ノ神 次ニ妹 伊邪那美ノ神

○此二柱ノ神ハ。記神ノ七丁。ニ沫那藝ノ神次

ニ沫那美ノ神。次ニ頼那藝ノ神。次ニ頼那美ノ神ノ如ク。風吹ケバ浪立ち。風止メハ浪和グノ意ヨリ負セ。給ヒシ名ト悟ラル、ナリ。今日モ一時世潮ノ風波起ル可シ。而シテ終ニ平和アル可クト思ハル、所ナリ。

○記ノ二五丁十二ノ。老夫ト老女ノ訓ヲ。眞理ニ由リテ。下ヨリ讀メバ「ナキ」ナミト成ル是同一ナルヲ示シ給フ也。

○紀一ノ八丁既ニシテ伊弉諾尊伊弉册尊共ニ議テ曰ク。吾已ニ大八洲國及山川草木ヲ生

リ。(是表大御神ノ御代)ト在リ又記二六丁ニ老夫老女ノ我之女者本ヨリ八稚女在キ又備後ノ國ノ風土記ニ武塔ノ神(速須佐能)出坐リ。後ニ年ヲ經テ八柱ノ御子ヲ率テ還リ來坐云々○記神ノ七丁四八丁九丁十丁十二ノ如キ。悉ク二柱ノ神ヨリ八柱ツツノ御子神生坐ルト皆能ク相似タリ。是今日八ハ二ニ歸スルヲ示シ給フ所ト悟ラル、ナリ。

於是天ツ神諸ノ命以テ。伊邪那岐命伊邪那美命二柱ノ神ニ。此多陀用幣流國ヲ修理固メナセト

詔ゴチテ。天ノ沼矛ヲ賜ヒテ。言依シ賜ヒキ。

○天ツ神ハ。義四十三丁ニ云ヘル。至尊ノ原靈。即チ獨一眞實ノ大御神ヲ指スナリ。

○命以テハ。御言ヲ以テノ意ナリ。是導師ノ言ハ神ノ言ナレバナリ。

○多陀用幣流國ハ。記ノ一丁。次ニ國稚ク云々多陀用幣流時ニトアルニ應フ。心ニ定マル所ナク。憂苦ニ沈メルヲ云ナリ。

○國ヲ修理固メナセハ。記ノ四五丁。故汝葦原色許男命ト。兄弟トナリテ。其國作り固メヨシ

トアルニ應フ。是心ニ安慰快樂ヲ得サセヨトノ意ナリ。

○天ノ沼矛ヲ賜フハ。天ハ原靈ヲ指スナリ。沼矛ハ紀一ノ四丁ニ。瓊矛註ニ瓊ハ玉ナリトアリ。全ジ五十九丁ニ皇孫天津彦根火瓊々杵根尊ト書サセ給ヒシ如ク。沼ハ瓊ナリ瓊ハ玉ノ意ヲ含メバ即チ二靈ヲ云フナリ。其一ハ和靈ナリ即チ高御産巢日神ニ當ルナリ。又一ハ荒靈ナリ即チ神産巢日神ニ當ルナリ。此二靈ヲ伊邪那岐命伊邪那美命ニ賜フヲ云フ。是大

御神ノ御代表タレバナリ。今日ハ導師ニ當ル
 ナリ。
 ○言依シ賜ヒキハ。今日ハ導師ノ言ヲ以テ。人
 々ヲシテ獨一ノ大御神ニ歸サシムルヲ云フ
 ナリ。
 之ヲ約言スレバ。今日獨一大御神ノ諸ノ御道ヲ
 以テ。導師ニ。此定マル所ナク憂苦ニ沈メル人心
 ニ。奇靈ヲ受サセ安慰快樂ヲ得サセヨト詔ゴテ。
 和靈荒靈ヲ賜ヒテ。神ノ言ヲ依託シ賜フ。大御神
 ノ御神慮ト悟ラル、所ナリ。

全三丁

於是其妹伊邪那美命ニ。汝身ハ。イカニ成レルト
 問給ヘバ。吾身ハ成テ成合ザル處一處アリト
 曰シ給ヒキ。
 爾伊邪那岐命詔給ヒツラク。我身ハ成テ成餘
 レル處一處アリ。
 故此吾身ノ成餘レル處ヲ。汝身ノ成合ザル處ニ
 刺塞テ。國土生成サントオモフハ奈何ニト詔給
 ヘバ。伊邪那美命然善ケント曰給ヒキ
 ○成餘レル處ヲ成合ザル處ニ刺塞ギハ。餘リ

アル所ヲ以テ。足ラザル處ヲ補フ。愛ノ神諭ト
悟ラル、ナリ。

○國ハ心魂ノ安慰快樂ヲ云フ。○土ハ身体ノ
満足ヲ云フナリ。

全四丁セ

女言先ダチシニ因テ不良。亦還リ降りテ改言ヘ
ト詔給ヒキ。

是劣レル者先ニ。優レル者後ニ成ル。ト先ノ者
ハ後ニ。後ノ者ハ先ニ爲ルノ。眞理ヲ示シ給フ
者ナリ。亦血氣ニ任セテ事ヲ爲ズ。深ク思慮シ

テ行ヘトノ意ニシテ。我等ヲヘノ規定ト成ル
者ナリ。

神典演義第五

明治三十二年一月十五日

眞理考ノ二

井上眞優敬白

記神五丁ニ

粟ノ國ヲ。大宜都比賣ト謂ヒ。

○古事記ノ丁數ハ。是迄加藤大人著述ノ。標註本ニ據リシモ。今日ハ賣切タル由ナリ。故ニ以後ハ本年一月二日發行ノ。井上頼文氏ノ校註古事記讀本ノ。丁數ヲ掲ケ。行數ハ一二三四等ノ字ヲ以テ別ツ。但シ以下之ニ準ズ可シ。

○大宜都比賣モ。奇靈タル少名彦名ノ神ト信
 ゼラル、ナリ。夫ハ紀一ノ三十九丁。一書ニ亦
 曰ク。淡島ニ至テ粟柄ニ縁シカバ。則チ彈レ渡
 リマシテ。常世ノ郷ニ至マシ矣トアリ。亦今日
 國々ニテ祭レル。粟島明神モ。少名彦名ノ神ナ
 レバナリ。

○記八丁。次ニ大宜都比賣ノ神ヲ生坐シトア
 ルモ全神ナリ。

○全八丁。此神ノ子ヲ豊宇氣毘賣神ト謂スレト
 アルモ全神ナリ。

○全二五丁。乃チ其大氣津比賣神ヲ殺シ給ヒ
 キ。故所殺給ヘル神ノ身ニ成レル物ハ。頭ニ蠶
 生ナリ。

○「カヒユ」ハ神彦ノ「ミ」ヲ畧ケルナリ。夫ハ「義」
 ノ三九丁四一丁。ニ陳タル如ク。奇靈ヲ與ヘ
 テ神トシ遣ハス。又正直ノ頭ニ神宿ルノ意
 ニテ。神彦生ルニ應ヘバナリ。

二ツノ目ニ稻種生リ。二ツノ耳ニ粟生リ。鼻ニ
 小豆生リ。陰ニ麥生リ。尻ニ大豆生リキ。故是ニ
 神産巢日御租命。茲ヲ取ラシメテ。種トナシ給

ヒキ。

○紀一ノ二十丁是時ニ保食神實ニ已ニ死矣。云々天熊人悉ク取持去テ奉進。于時天照大神喜ンテ曰ク。是物者則チ顯見蒼生サノ食ヒテ活

○「片ノ「シ」ハ水ナリ水ハ眞理ニテ人ニ當ル。人ノ舌即チ神ノ言ニテ靈ヲ活ス義ナリ。可キ者ナリトノ給ヒテ云々

此天照大神ハ上ニ掲ゲタル記ノ神産巢日御祖命ニ當レバ。兩神トモ大御神ノ御代表

タル一ツノ證シナリ。

又口ハ言バノ裏ニ蠶ヲ含ミ

○「正直ノ頭ニ神宿ルノ語ヲ傳ヘ置セ給ヒ其語ノ裏ニ神彦ヲ含ム意ニモ應フ也。」

便チ絲（心絲眼ハ）ヲ抽コトヲ得タリ。

是記ノ言ヲ本トシ。心眼ヲ以テ。紀ノ紊亂錯雜中。眞理ニ應フ者ヲ抽出ス事ヲ示サセ給フ。神慮ト悟ラル、所ナリ。

○記ノ二五丁ニ蠶ノ字ヲ用井サセ玉ヒシハ。初生虫ノ意ナリ。紀ノ二十丁ニ蠶ノ字ヲ用井

サセ玉ヒシハ。繭ヲ作り成就ノ意ナリ。

○此神ハ。固ヨリ殺サレ給フ爲ニ。出サセ給ヒシト悟ラル、ナリ。夫ハ殺サレ給ハズバ。現見青人草ノ食ヒテ活ク可キ。蠶及ヒ米粟小豆麥大豆ノ種出ザレバナリ。是今日ハ導師其任ニ當ラレリト信ズル所ナリ。

○平田大人圖識ノ神代御系圖中所載ノ神名左ノ如シ

豐宇氣毘賣神 亦云登由宇氣神 亦名大宜都姬神 亦大御食都神 亦名宇迦之御魂神

亦名若宇迦能賣神 亦云大宇迦神 此者御食物之神也。今日ハ心魂ヲ活ス。靈ノ食物ニ當ルナリ。

○此外ニ上ニ云ヘル。少名彥名神ト。保食神。亦「義」ノ六十丁ノ天之常立神ヲ加フ可シ。

次ニ伊豫ノ二名「二人ノ意ナリ」
島ヲ生給フ。此島ハ身一ツニシテ面四ツアリ。面毎ニ名アリ。故伊豫國ヲ愛比賣ト云ヒ。

○此愛比賣ハ。全四丁ニ於、是伊那那岐命先ツ阿那邇夜志愛袁登賣袁ト言給ヒキトアル愛

乙女ニシテ。亦奇靈タル櫛名田比賣。「紀一ノ三四丁ニ奇稻田姫トアル是ナリ」トモ全神ナリト悟ラル、ナリ。其事ニ就テハ備后風土記ヲ要スレバ。平田大人著述ノ牛頭天王曆神辨ト。明治卅一年五月印刷ノ栗田大人纂訂。古風土記逸文中記載アル所トナ。參酌シテ左ニ掲グ。

備後國「伊豫國ノ豫ノ字ト備ノ字ヲ併セバ。豫備ト成ル。后世即チ今日ノ豫備ト悟ラル、ナリ」ノ風土記曰。疫隅國社。

○社ハ家代ニテ從前ノ社殿ハ假ナリ時至ラザレバナリ。今日ノ御家ハ人ノ身体ナリ是眞ナリ時至リタレバナリ。

○國ハ靈性ヨリ云ヘバ。人ノ心魂ナリ。

○疫ハ住吉チ「スミノエ」ト云ヒ。日吉チ「ヒエ」ト云ニ均ク。吉ナリ吉ハ善ナリ善ハ神ナリ。

○隅ハ住ナリ。故ニ今日人ノ身体ノ心魂ニ。神ノ住給フノ謂ナリ。是眞理ナリ。

昔シ北海坐志武塔神。

○該地ヨリ北ノ國ハ出雲ナリ。武塔ノ神ハ。速

須佐能雄ノ神ノ事ナリ。タケアラキト負セ給
ヒシハ。今日大御神ノ御旨ニテ。心魂上ノ萬事
ヲ改メ新タニシ給フニ際シ。神ニ就キ服ハザ
ル者ハ。大御神ノ御業ヲ建ク荒々シトシテ
禦スルヲ。豫メ示サセ給ハン爲ナリト。信ゼラ
ル、ナリ。近クハ皇政維新又御一新ト稱セシ
ニ粗似タリ。

南海神ノ女子乎

○該地ヨリ南ノ國ハ。南海道ノ伊豫ナリ。南海
ノ神ハ。日本總鎮守四國一ノ宮祭神大山津見

神ナリ。女子ハ奇靈タル稻田姫ノ事ニシテ。愛
媛亦愛乙女ト全神ト悟ラル、ナリ。扱奇稻田
姫ヲ大山津見神ノ女子トスル證ハ記ノ二五
丁ニ。汝等ハ誰ゾト問給ヘバ。故其老夫僕者
國ツ神大山津見神ノ子ナリ。僕名ハ足名椎。妻
ガ名ハ手名椎。女ガ名ハ櫛名田比賣ト謂スト
答ス。トアレバナリ。而シテ此文ニ據レバ孫ナ
ルモ。子孫ヲウミノコト訓メバ妨ガ無ケレバ
ナリ。

○紀一ノ三六丁。一書ニ曰ク。是時ニ素戔嗚尊

安藝國ノ可愛ノ川上ニ下到マス也。

○史傳十四ノ四五丁ニ。出雲風土記ノ「出雲國安來ノ埃ノ川上ニ（川上即チ首長ノイヒナリ人來リ坐テ。吾御心者安ク平ヒニ成焉詔矣。是國ヲ古來浦安ノ國ト云ヒシモ之ヨリ起ルナラン）故其處ヲ安來ト云フ」トアル文ヲ採用ヒラレタリ。故ニ「ヤスギ」ハ出雲ナラデ此安藝ノ國ヲ云フナリ。夫ハ「ゲイ」ノ音ヲ約メタル濁音ノ「ギ」ノ字ナレバナリ。尙ホ下ニ云フ可シ却說ク前文ニ由テ可愛ト埃ノ同一ナルハ知

ニ足ナリ。加之ズ全シ卷四九下ノ註ニ可愛ヲ埃ト云フ。異所ノ訓註ニ見エ。神武天皇ノ紀ニモ埃ノ宮トアリ。今ハ其ニ據レリ。トアレバ倍信ズ可キナリ。彼處ニ神有リ。名ヲ脚摩手摩ト曰フ。其妻ノ名ヲバ稻田ノ宮主篁狹ノ八箇耳ト曰フ。此神正ニ在妊身。夫妻共ニ愁ヘテ。乃チ素戔嗚尊ニ告テ曰ク。我生ル兒多ナリト雖モ。生ム毎ニ輒チ八岐大蛇有テ來吞ム。一人モ存ルコトヲ得ズ。今吾レ産ントス。恐クハ亦吞レンコトヲ。是ヲ

以テ哀傷云々則チ劔尾ノ中ニ在リ。是チ草薙
 ノ劔ト號ク。此ハ今尾張ノ國ノ吾湯市ノ村ニ
 在ス。即チ熱田ノ祝部ノ所掌之神是也。其蛇ヲ
 斷シ劔ヲハ號ケテ蛇ノ廉正ト曰フ。此ハ今石
 上ノ宮ニ在ス也。是后ニ稻田ノ宮主簀狹ノ八
 箇耳ガ生ル兒。眞髮觸奇稻田媛ヲ以テ。出雲ノ
 國ノ簸ノ川上ニ遷シ置テ長養焉。然后チニ素
 蓋鳴尊以テ妃ト爲給ヒテ。所生給ヘル兒ノ六
 世ノ孫。是チ大己貴命ト曰ス。

○記紀共ニ肥又簸ノ川上ト記サシメ給ヒ

シハ。妃トナシ給フ時ヨリ云ル故ナリ。大己
 貴命ヲ六世ノ孫トシ。亦「ヤスギ」チ安藝ノ國
 トセルハ。最モ優レル傳ヘト信ゼラル、ナ
 リ。然レドモ是亦假ナリ。實ハ向道ナル伊豫
 ノ國ノ事ナ。隱シ置給ヒシト悟ラル、ナリ。
 是眞ナリ。其ハ伯耆ノ國ト思ヒシ淡島ハ。上
 ニ云ル如ク。向ヒ道ノ淡路ノ國ト信ゼラル
 レバナリ。
 與波比爾出坐爾。日暮多利。六千年ノ末。世ノ終
 リナ。云フ。即チ今日ヲ示シ給フナリ。

彼所仁。世界中ヲ指ス。今日ノ人ノ世ナリ。將來二人在伎。兄ヲ

○「兄ハ我國ニ當ルナリ。亦根ノ國。底ノ國ト云フモ。我國ノ事ナリ夫ハ根本ノ國ニテ。常磐ノ國ノ謂ナリ。我國ノ如キ。萬世一系ノ聖天子在坐ス國。他ニ比類無ケレバナリ。而シテ靈性ニテ。兄亦根亦底ノ國建ツ可シ。是真ナリ」

蘇民將來止云フ。「谷川士清大人ノ説ニ。素尊(サス)ノトヲノ神ノ生民ヲ將來(后世ノ)ニ。蘇朔(今日死セル)ニ當ルナリス(心ヲ復生ナリス)スルノ寓言也。ト云ハレタルハ。大

御神ノ默示ト。信ゼラル、ナリ。

甚貧窮(我國ニ當ル)弟巨旦將來止云フ

○「曆神弁六丁ニ。然シテ後ニ天王后妃及ビ八王子。諸眷屬ヲ率テ。廣遠國ニ到リ彼鬼館(人魂ノ)ヲ入リ。諸ノ眷屬ト與ニ亂入シテ。彼一族ヲ沒敵スルコト沙揣(ササ)ヲ蒔クガ如シ。沙揣ハ巨旦將來ノ事ナリ。惡鬼ヲ云フ。蒔ハ俗ニ連ナ弛スコトヲ「マダ」又「マイデヤル」等ト云フ意ニシテ放ス義ナリ。故ニ沙揣(ササ)ヲ蒔トハ。人心ニ惡鬼ノ靈ノ着居ルヲ放シ。大御神ニ就

スルノ謂ナリ

彼賤女ヲ助ケムト欲テ桃、木、札ヲ削リ。云々。富饒ニテ屋舎一百在伎。爰仁武塔神。宿處借給フニ。惜天不借。兄蘇民將來借奉留。

○「今日我國人。身体ヲ以テ。神ノ宮トシ。大御神ヲ宿ラセ奉ルニ應フナリ。此時ハ速須佐能雄、神ハ。大御神ノ御代表ノ資格ナリ。」

即チ粟柄ヲ以テ座ト爲シ。粟ノ飯等ヲ以テ饗奉流（貧窮云フ形）饗奉ル事既ニ畢テ。武塔ノ神出坐リ。後仁年ヲ經テ。八柱ノ子ヲ率テ還來マシテ詔給

ハク。我將來ノ爲ニ「蘇民將來ノ爲。即チ今日我國人ノ復生スル者ノ爲メノ意ナリ。」

報答。汝子孫在哉間給フ。蘇民將來答申久。已女ト斯婦ト侍止申ス。即チ詔久。茅ヲ以テ輪ヲ爲リ。腰ノ上ニ着シメヨ。「茅ハ智慧ナリ。輪ハ丸キ物ナリ。玉ナリ靈ナリ。腰ノ上ハ胸ナリ心ナリ。故ニ心ニ智慧ノ靈。即チ奇靈ヲ受ケシメヨトノ意ナリ。」義ノ三七丁ニ云ヘル如ク。足ハ行カネドモ。天ノ下ノ事ヲ盡ニ知ル神（人ヲ）ニナモアリケル。是智慧ノ謂ナリ。夫レ大御神ノ御智慧ハ。

無始無終ニ在坐テ。天地萬物ヲ創造シ。又從ツ
 テ之ヲ化育シ給ヒテ。瞬間モ御油斷在ラセラ
 レズ。預ジメ今日。即チ末ノ日大賞罰ノ事ヲ定
 メ給フ等。其智慧ノ洪大無邊ナルハ。言語ニ陳
 難シ。亦奇靈ハ其御智慧ノ分靈ナレバ。智慧聰
 明ノ子トモ。又神ノ子トモ云フ所以ナリ。
 詔ノ隨ニ着シムレバ。「大御神ノ御言ニ隨ヒ。奇
 御玉ヲ受シムレバノ意ナリ」。
 即夜爾「末ノ日即チ今日ノコトナリ」。
 蘇民ト。女人二人トヲ置天。皆悉久。許呂志保呂保

志天伎。即時詔久。吾者速須佐能雄神也。「末ノ日
 神ニ就カザル者ノ。速カニ來マシ。雄々シキ御
 工ト。恐ル、事ヲ預知シ。負セオキ給ヒシ名ト。
 悟ラル、所ナリ」。
 後ノ世仁疫氣在者
 ○「エヤミノケ」ハ。吉止ノ萌シノ意ニテ。今日苦
 惱ノ萌シアルニ應フナリ」。
 汝蘇民將來之子孫止云天。「民ハ靈性ヨリ云ハ
 靈魂ナリ本心ナリ。蘇民トハ死セル靈魂ヲ黃
 泉ヨリ返ラシ活ス（蘇生ノ字ヲヨミ返リ）ノ意ニシ

テ。今日死セルニ均シキ本心ノヨミガヘレル
 ナ復生ト云ナリ。其復生ノ靈ノ産出スナ。蘇民
 ノ子孫ト云フノ義ナリ。
 茅ノ輪ヲ以テ腰ノ上ニ著ケ。詔ノ隨ニ著シムレ
 バ。即チ家在人者。免カレムト詔給ヒキ。
 ○家ハ身体ナリ。人ハ心魂ナリ。故ニ大御神ノ
 御言ニ隨ヒ任セ。智慧ノ御分靈。即チ奇靈ヲ身
 体ナル心魂ニ有ツ時ハ。安慰快樂ヲ得。殺シ亡
 サル、ノ苦惱ヲ免ル可シトノ意ナリ。
 之ヲ約言スルニ。二段トスルヲ要ス。

第一段ハ。昔シ出雲ノ國ニ坐シト云フ。速須佐能
 雄ノ神。伊豫ノ國ニ坐スト云フ。大山津見ノ神ノ
 女子愛媛。即チ奇稻田媛ヲ「ヨバヒ」ニ出坐スノ意
 ナリ。
 第二段ハ。後世即チ今日ノ豫備ノ爲ニ寓言セシ
 如ク。心魂ヲ復生スル。智慧ノ分靈デアアル。奇靈ヲ
 受サセ。安慰快樂ヲ得テ。殺シ亡ボサル、苦惱ヲ。
 免レシム可シトノ義ナリ。
 是今日大御神ヨリ。我等ヘノ神諭ト。悟ラル、所
 ナリ。

全五丁九

次ニ大倭豊秋津島ヲ生給フ。亦ノ名ハ天御虚空豊秋津根別ト云フ。

○大倭ハ五畿ノ一ツナル大和ヨリ起レル名ナリ。今日ニ宛レバ。東京即チ天皇陛下ノ在坐ス都ノ意ナリ。

○豊秋ハ水穂ト云フニ均シク。秋豊熟スル物ハ米ナレバ。即チ米ノ義トス。

○紀一ノ廿丁。稻ヲ以テ水田種子ト爲ス。又因テ天ノ邑君ヲ定ム。

「天ハ靈ナリ。故ニ靈ノ邑君ノ意ナリ」

即チ其稻種ヲ以テ始テ天ノ狹田及ヒ長田ニ殖。其秋ノ垂顛八握莫々然

○「是秋豊熟ノ形容ニシテ。豊秋ノ稱ノ起因スル所ナリ。然レドモ有形ナレバ假ナリ」
甚ダ快ヨシ。

○「是心魂ノ豊秋ニシテ。安慰快樂ヲ云フ。無形ニシテ真ナリ」

○天御虚空ハ。天モ御虚空モ。有形ノ目ニ見ユル物ナキ意ナレバ。即チ靈ニ宛ルナリ。是靈性

ノ事ナ。我國ヨリ開カセ給フ。大御神ノ御豫定
ナ。國ノ名ニ負セ置。今日ヨリ現ハシ給フ者ト
悟ラル、ナリ。

○米ハ、義「三八丁ニ云ル如ク。我國ノ特産物ニ
シテ。稻田比賣ニ當ルナリ。米ニテ人ノ命ヲ繫
グ如ク。肉體ノ相續モ稻田比賣ヨリ出テ。世界
人類ハ蕃殖セシナリ。故ニ我國ヲ形体上ヨリ
モ。祖國ト稱セシ所以ナリ。亦不老不死國ト稱
セシハ。須佐之男ノ神。大國主ノ神ノ。御世ヲ云
ヘドモ。今后其事實ハ必ズ。我國ノ東京ヨリ行

ハル可シト信ゼラル、ナリ。中世ノ建内ノ宿
禰命ハ今日ノ模楷ナリ。且所謂生命ノ樹ノ菓
實トハ。心魂ノ安慰快樂ニシテ奇靈ノ能力ナ
レバ。今日東京ヨリ開カセ給ヒ。世界中ノ人類
ハ。其道ヲ以テセバ。悉ク其生命ノ樹ノ菓實ヲ。
食フコトヲ得可シト悟ラル、ナリ。是亦奇靈
タル稻田比賣ノ靈ト。大宜都比賣ノ靈トノ能
力ニシテ。靈ノ子ヲ産出シ生長蕃殖セシメ。給
フト悟ラル、所ナリ。故ニ靈性ヨリ。祖國ト稱
サセ給ヒシ所以ナリ。是眞ナリ。

附言

明治三十二年一月廿二日

○「義」ノ五四丁ニ。八ハ二ニ歸シ云々ハ。神典中
八百萬ノ神在ルガ如キモ。究^キ竟^キ二神。即チ高御
産巢日神。神産巢日神。伊邪那岐神。伊邪那美神。
須佐之男神。奇稻田比賣神。大國主神。須勢理比
賣神等ノ親神二神ニ歸スルノ謂ナリ。然レド
モ大地ノ數ハ。十二ヲ以テ成ルナリ。故ニ國常
立神ヨリ伊邪那美神マデ十二神アリ。亦十二
支アリ。十二ヶ月アリ。身体ニハ五臟六腑ト男
三ハ陰囊女ニハ子宮ヲ加ヘ。合セテ十二ナリ。

然ルニ我國ハ從來大八島國ト稱シ。神道ハ八
 ナ尊ヲト云シ也。大御神ハ御旨ナレバ。宜シキ
 ナリ假ナリ。實ハ十二ノ中ノ四ナ缺ル者ナリ。
 サラハ我國ニテ。十二ヲ具備スル事アリ哉否
 ト云ハ。死セルニ均シキ幸御靈ニ。奇御靈ヲ
 妻合ハセ。悉ク復生タル后ニアル可シ。先ツ今
 日ニ於テハ。國常立神豐雲野神ハ。生ト命ナレ
 バ。獨ノ神ガ成シ坐シテ。隱リ身ニ在シ坐セハ
 之ヲ闕キ。宇比地邇神ヨリ。伊邪那美ノ神マデ
 ノ。十柱ノ神即チ一位ヨソ。我國ニ對シ大御神

ノ定メ給ヘル大地ノ數ナリ。亦十千ニ當ルナ
 リ。千ハ甲ヨリ癸ニ至ル。之ヲ天干ト謂フ。一ニ
 從ヒ十ニ從フナリ。亦千ハ幹ナリ。事ヲ能スル
 ナリ。木旁ニ生ズル者ヲ枝トシ。正シク出ル者
 ナ幹トスレバ。即チ根本ノ意ナリ。仍テ我國ヲ
 根ノ國トスルニモ應フナリ。故ニ人ノ手足ニ
 ハ。左右併セテ十本ツツノ指アリ。中ニ就キ二
 本ツツ親指アルハ。二人ノ親アリ。八人ノ子ア
 ルノ證シナリ。從來十ヲタリト云ヒシハ具足
 ノ意ナリ。而シテ残りノ二ツハ。何處ヨリ來リ

ヲ十二分トナル哉ト云ヘバ。神典ノ割符タル
 聖書ノ眞旨ヲ導奉履行スル國ヨリ出デテ。我
 國ト一体ト成ル。是其時ナリ。満圓ノ秋ナリ故
 ニ二ハ十位ノ一ニ歸スル所以ナリ。
 ○宇比地邇ノ神ヨリ以下。十神ヲ心魂ノ能力
 ヨリ云ヘバ。左ノ如シ。
 宇比地邇ノ神。次ニ妹。須比智邇ノ神。
 ○出生ノ時ヨリ。満十歳マデニ當ルナリ。
 角杙ノ神。次ニ妹。活杙ノ神。
 ○十一歳ヨリ。満廿歳マデニ當ルナリ。

意富斗能地ノ神。次ニ妹。意富斗乃辨ノ神。
 ○廿一歳ヨリ。満三十歳マデニ當ルナリ。
 淤母陀琉ノ神。次ニ妹。阿夜訶志古泥ノ神。
 ○卅一歳ヨリ。満四十歳マデニ當ルナリ。是
 孔子ノ四十二シテ惑ハザルノ謂ナリ。
 伊邪那岐ノ神。次ニ妹。伊邪那美ノ神。
 ○四十一歳ヨリ。満五十マデニ當ルナリ。是
 記二丁八「於是天神ノ詔命以テ云々ト。孔子
 ノ五十二シテ。天命ヲ知ルニ應フナリ。

明治卅二年一月三十一日印刷
全 年二月三日發行

(非賣品)

東京市神田區駿河臺袋町十五番地

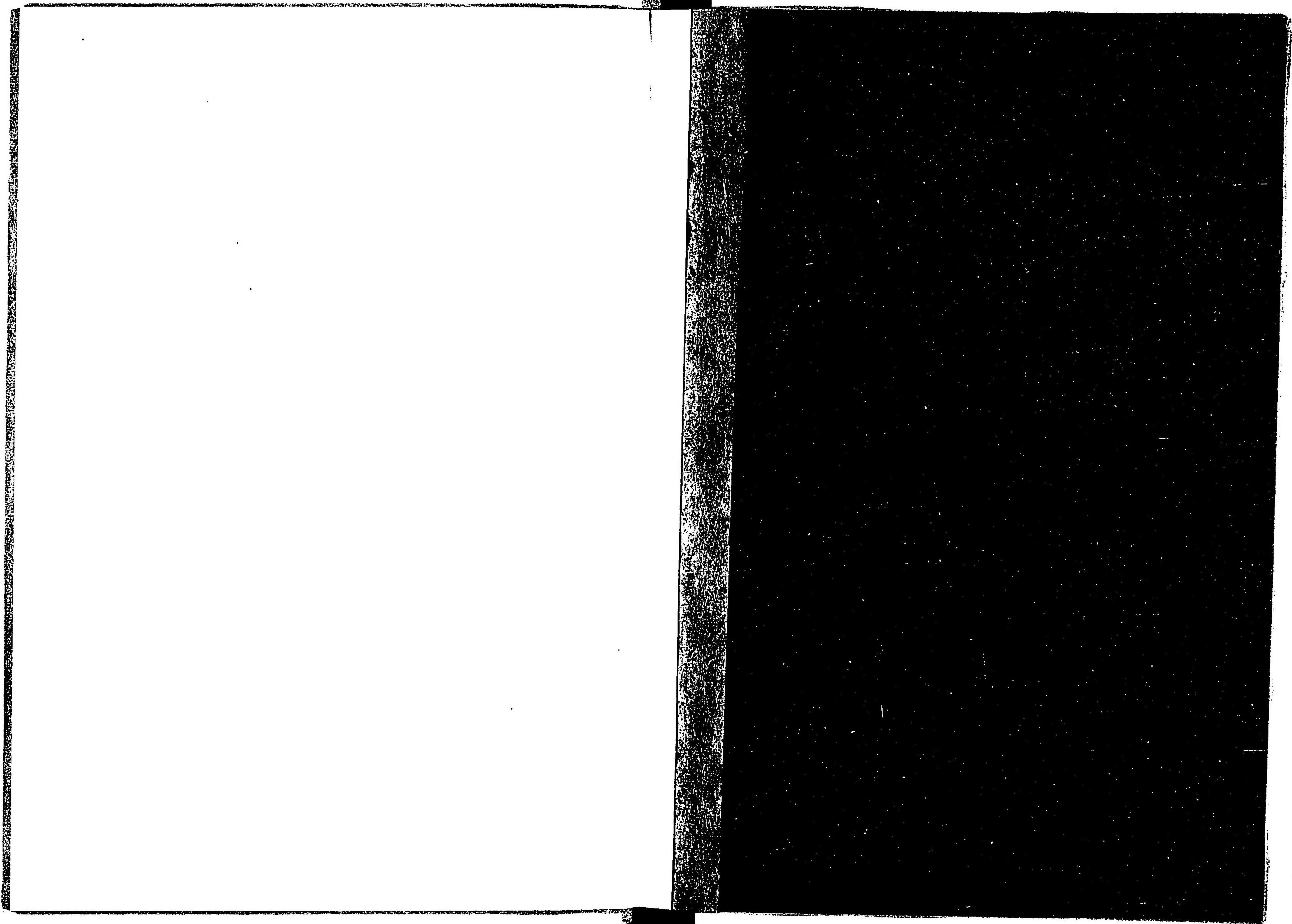
編輯人兼發行人

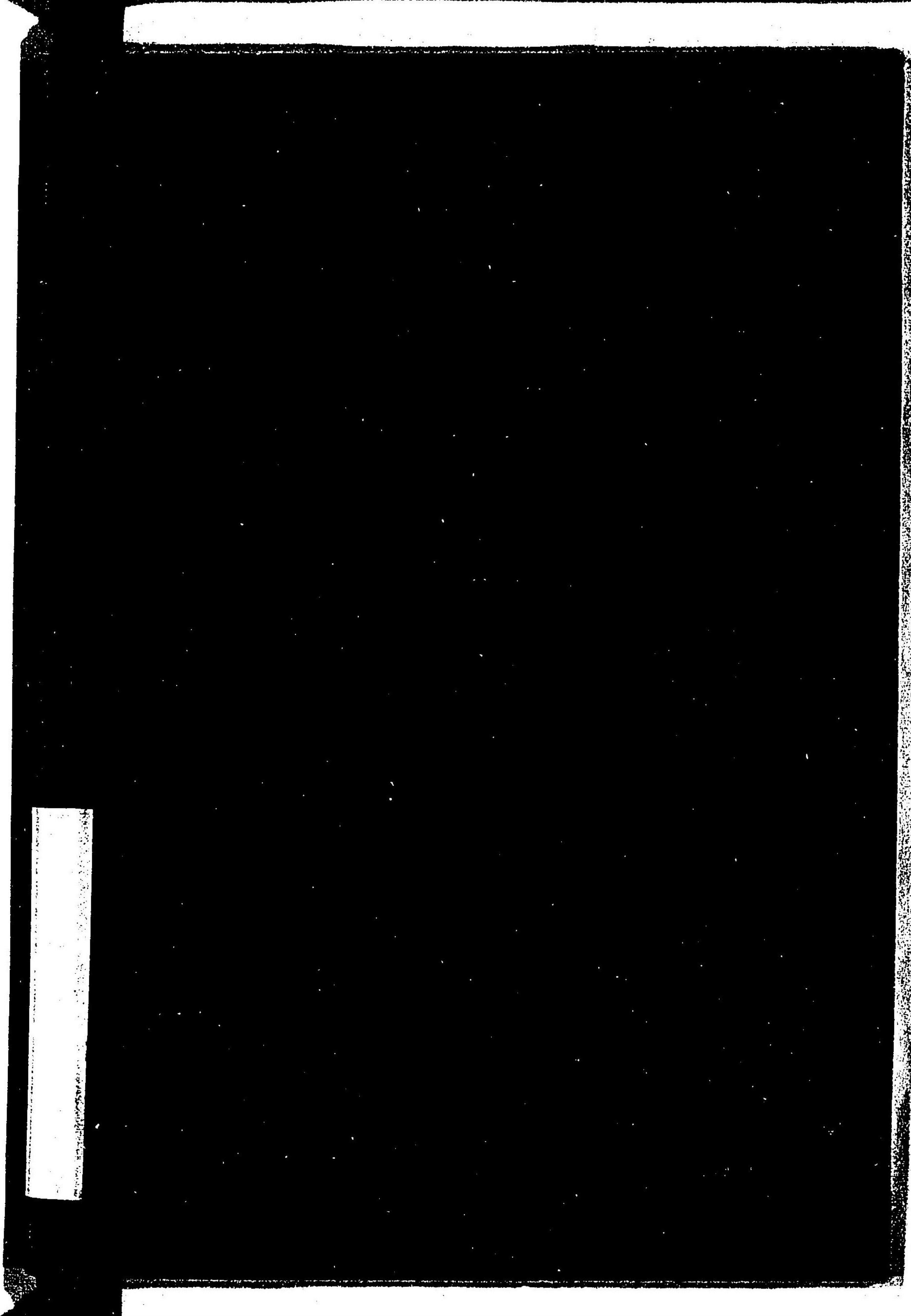
井 上 眞 優

全 市京橋區山下町七番地

印刷人

宇津木信夫





Small white label with faint, illegible text.

特18

588

神典演義

国立国会図書館

014224-000-1

特18-588

神典演義

井上 真優 / 編

M32

ABB-0552

